

ワンダーラボ カンボジア法人代表
渡邊大貴(わたなべ・だいぎ)さん

長年にわたりカンボジアの教育再生に携わっている。「実際に学校に行ってみると、子どもたちが本当に楽しそうにシンクシンクをやっているんです。その笑顔が何よりうれしかったです。」



「世界中の子どもが本来持っている知的なわくわくを引き出す」——この言葉を掲げて、日本だけでなく世界に向けてIT技術を用いた教材やコンテンツの開発・運営を行うワンダーラボ(旧・花まるラボ)は、JICA民間連携事業を活用し学校教育における子どもたちの習熟度の低さや不十

子どもたちの可能性を広げるアプリ教材



上:オンライン授業の実施を正式合意した際の渡邊さん(左)とカンボジア教育省の大臣。下:オンライン授業を行った先生は一躍人気者に。

がわかった。さらに大きな特徴として性別、学年、保護者の学歴には関係なく効果が表れていたという。「子どもの習熟度や学習効果は、保護者の学歴に左右されることが多いのですが、シンクシンクの場合は差

「スクール版シンクシンク」を4月からの約3か月間、無料開放したのだ。同時に現地にいるワンダーラボのインストラクターによるシンクシンクを用いたオンライン



JICA担当者
中上亜紀(なかがみ・あき)さん

シンクシンクはゲーム感覚で誰でも取り組めるアプリでありながら、偏差値の上昇などの効果が表れている教材です。多くの子どもたちに楽しみながら質の高い教育を提供できると期待しています。

今後ワンダーラボは教育省とも連携して、公立学校へのシンクシンクの導入に向けた活動を行い、私立学校や一般家庭にも広げていく予定だ。「これからは、子どもたちに学ぶ楽しさを伝えていきたいと思っています」と、渡邊さんは未来に向けて語ってくれた。

オンライン授業にも挑戦



よくできました!



効果測定を行った小学校の児童たち。配られたタブレットを手にしている。



わくわくするよ♪

子どもたちに
質の高い学びの機会を

カンボジアでは、学校教育のさらなる質の向上が求められている。学習の基礎となる思考力を育てるアプリ教材を用いて、公平で質の高い学びの機会を広げる取り組みが始まった。

文●坪根育美

案件名 アプリ教材「Think!Think!」の活用による初等教育のSTEM学力向上に関する普及・実証・ビジネス化事業
2020年2月～2022年6月

Kingdom of Cambodia
カンボジア

国名: カンボジア王国
通貨: リエル
人口: 1,630万人
(2018年、IMF推定値)
公用語: カンボジア語

ポルポト政権時代に多くの学校が破壊または閉鎖され、教員をはじめとする知識人の命が奪われた過去を持つ。現在、教育環境は改善傾向にあるが十分とはいえ、多様な教育支援が必要とされている。

貢献するSDGs

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を實現しよう

学校に行く楽しさが
増えました!

Think!Think!とは?

図形やパズル、迷路などの問題を解きながら思考力を育てるアプリ教材。「空間認識」「平面認識」「試行錯誤」「論理」「数的処理」の5分野で展開している。現在世界150か国に100万人以上のユーザーを持つ。

問題例

- 試行錯誤**
ワニに見つからないようにゴールを目指す問題。あたりをつけて進む力などが育つ。
- 平面認識**
点の中から正方形になる頂点を探る問題。目に見えない補助線をイメージする力が育つ。
- 空間認識**
立体の背後にできる影の形を考える問題。空間認識力のひとつ「投影」の力が育つ。



集中してシンクシンクに取り組む子どもたち。

*1「中小企業・SDGsビジネス支援事業」。詳細はp.22へ。
*2 JICA民間連携事業の「中小企業・SDGsビジネス支援事業」の案件化調査(中小企業支援型)を活用。詳細はp.22へ。